

第104期 報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第104期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、欧州債務問題などによる世界経済の減速や、長引くデフレ、円高の影響などにより厳しい状況で推移したものの、政権交代以降、経済政策に対する期待感から、回復の兆しが見られました。

このような情勢のもと、当社におきましては、環境対策やバリアフリー化を推進し、安全で快適に暮らせる街づくりに取り組むための施策として、平成24年5月に公表した「サービス向上計画」に基づき、安全対策や利便性向上に積極的な投資を行い、引き続き安全・安心で良質なサービスの提供に努めました。

その結果、当事業年度の営業収益は前事業年度に比べ22.6%増の208億5,021万円、営業利益は5.8%増の11億3,886万円、経常利益は9.6%増の9億8,408万円、当期純利益は12.7%増の9億3,960万円となりました。

当社グループにおきましては、輸送における安全確保のための設備投資を実施するとともに、平成24年3月の芸陽バス株式会社の子会社化や4月の呉市交通局からのバス路線承継など、積極的な事業展開を進め、収益の確保に努めました。

その結果、当連結会計年度の連結営業収益は前連結会計年度に比べ14.4%増加し、416億1,608万円となり、経常利益は11億1,287万円、当期純利益は、13億8,718万円となりました。

当社および主要な関係会社では、経営総合3ヵ年計画を策定しており、経営の基本方針のもと、課題に沿った事業実施計画にもとづいた損益数値目標を設定して事業を遂行し、目標の達成に向けて取り組んでおります。

安全性の確保を前提に、この計画に掲げた様々な経営課題に取り組むとともに、経済環境の変化への迅速な対応と、個々のお客様のニーズに応じたサービスや商品の提供、厳しい計数管理に基づく経費の削減などに取り組み、安定した収益構造の構築に努め、引き続き皆様に愛される企業グループを目指してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 **椋田 昌夫**



1000形運行開始



● 1000形

平成25年2月より、車体の長さ18.6mの超低床車両1000形が、横川線、江波線、白島線の各線で営業運転を開始いたしました。同時に、本線と白島線の直通運行を開始し、利便性の向上に努めました。

「本通」電停の改良

平成24年12月に、「本通」電停は、ホームの延長と拡幅を行い安全性の向上を図りました。さらに、スロープ部の勾配をなだらかにしてバリアフリー化も行いました。



● 「本通」電停

電車の運行情報提供を充実



● 新型ロケーション表示器

宮島線6駅と市内線3電停に新型ロケーション表示器を設置するとともに、パソコンや携帯端末で、全車両の到着予測時刻を確認することができる運行情報提供システムを、宮島線にも拡大し、さらなる利便性の向上に努めました。

広島空港リムジンバス路線延長



● 平和大通りを運行する
広島空港リムジンバス

広島空港リムジン線において、広島市と協力した社会実験運行や、平和大通り沿線のホテルと連携した平和大通り～広島空港線の運行を開始し、顧客の獲得に努めました。

車両の更新

平成24年度は、CNG（圧縮天然ガス）ノンステップバス5両を含むノンステップバス29両を導入し、バリアフリー化と環境対策を推進いたしました。



● CNGノンステップバス

分譲マンションの竣工



● アンヴェール比治山公園

平成25年3月に広島市南区の分譲マンション「アンヴェール比治山公園」が竣工し、入居者への引き渡しを行いました。また、平成24年7月より広島市佐伯区の「石内東地区開発事業」の造成工事に着手し、9月

には土地利用区画の中核となる商業用地について、大手流通業者と不動産販売契約を締結いたしました。

運輸部門

備北交通(株)

昨年度に引き続き平成24年度も、一般路線用としてハイブリッド車両1台を含むノンステップ車両を3台導入いたしました。今後も低床・低公害車両を計画的



●ハイブリッドノンステップバス

に導入することで、高齢者の多い当社営業地域においてお客様の快適性を高めるとともに、人と環境にやさしい会社を目指してまいります。

エイチ・ディー西広島(株)



●新造車両

平成24年11月に行ったダイヤ改正で、デマンド運行区間を拡大し、サービス水準を維持しながら運行効率の向上を図りました。同時にAT車の新造車両を

2両導入し、安全性と快適性の向上を図りました。

芸陽バス(株)

平成25年1月に、老朽化していた竹原車庫内の乗務員休憩棟を建て替え、1階部分を竹原営業所、2階部分を乗務員休憩室にしました。これまで駅前にあつ

た竹原営業所を車庫内に統合することにより、運行管理体制の強化を図り安全確保の向上に努めました。



● 竹原営業所

広電観光(株)



● ラストフライトを見送る航空部職員

当社は広島空港で日本航空の業務を受託しております。

平成25年3月30日、航空部職員は、退役する日本航空

MD90広島発羽田行のラストフライトを見送りました。

広島観光開発(株)

宮島ロープウエーでは、昭和34年の開業以来使用してきた、獅子岩駅の原動・遊動滑車の交換工事を実施し、安全性の向上に努めました。また、紅葉谷駅の外



● 原動・遊動滑車

壁や階段部等の改修を行い、お客様が快適に利用していただけるように美装化を図りました。

宮島松大汽船(株)



● 宮島松大汽船

大河ドラマ「平清盛」の放映に伴い、団体ツアーを中心にご利用が増加しました。お客様の状況に応じ、臨時便を増発し利便性の向上と収益

の確保に努めました。また、所有船舶「厳島」のエンジンを環境に優しい新エンジンに交換し、さらなる安全性と信頼性の向上を図りました。

不動産・建設部門

広電建設(株)

建築部では、学校関係・公営住宅関係などの公共工事や民間工事も多数受注しており、平成24年度は、大型トラック等の整備工場の新築工事を受注し、8月に完成いたしました。



● 完成した整備工場

広電不動産(株)

不動産事業の効率的な管理・運営体制を実現するため、平成25年4月1日に、親会社である広島電鉄



● 広電三井住友海上ビル

株式会社に吸収合併されました。長年にわたる皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。

流通部門

(株)広電ストア

五月が丘団地内のスーパーが閉鎖されたことを受け、平成24年12月より、週3回、五月が丘団地とマダムジョイ楽々園間を往復する「マ



● 無料シャトルバス

ダムの無料シャトルバス」の運行を開始いたしました。車を持たない高齢者の方々に大変喜ばれ、新たな顧客の創出となっております。

(株)広電宮島ガーデン

平成24年12月に、もみじ饅頭のやまだ屋と共同開発したオリジナル商品「宮島ポミエ」を、宮島口もみじ本陣および山陽自動車道下り線の宮島SA・下松SA限定で発売開始いたしました。「ポミエ」とは、フランス語で「林檎の木」を意味し、宮島と観光友好都市



● 宮島ポミエ

提携しているフランスのモン・サン・ミッシェルにちなみ、当地の特産である林檎ともみじ饅頭をコラボさせて創作いたしました。

レジャー・サービス部門

(株)ホテルニューヒロデン

広島電鉄電車開業100周年記念として、平成24年11月に、京都の舞妓さんを迎えて「京都



● 京都舞妓の雅ディナーショー

舞妓の雅ディナーショー」およびソプラノ歌手出演の「下垣真希ディナーコンサート」を開催いたしました。

(株)ヒロデンプラザ



● 健康ボウリング教室

生涯スポーツとして中高年の方に向けて発信している「健康ボウリング教室」も4回目を迎えます。当教室の参加者440名

のうち半数以上の250名が広電ボウルの会員となっております。

また、プロボウラー津島健次さんをむかえ、新たな顧客の獲得を計画しています。

(株)グリーンバース・ヒロデン

平成24年9月に「第9回広電カップ 中・四国シニアゴルフ選手権大会」を開催し、10月には中国新聞社主催の「広島県



● 第9回広電カップ
中・四国シニアゴルフ選手権大会

シニアゴルフ選手権中部地区予選会」が当倶楽部にて開催されました。

ひろでん中国新聞旅行(株)



● ドイツの路面電車

広島電鉄電車開業100周年にあたり、ヨーロッパの魅力ある路面電車とロマンチック街道およびドイツの古城を巡る8日間の旅を企画し、た

くさんの方にご参加いただきました。カールスルイエでは本場のトラムに体験乗車、ニュルンベルクの市電体験、フランクフルトではリング酒電車にご乗車いただくなど、電車に関連した内容で好評でした。

連結業績ハイライト

		第101期	第102期	第103期	第104期
		平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
売上高	(百万円)	36,501	35,549	36,370	41,616
営業利益	(百万円)	1,192	1,408	1,333	1,437
経常利益	(百万円)	725	931	970	1,112
当期純利益	(百万円)	179	867	1,271	1,387
1株当たり当期純利益	(円)	2.96	14.30	20.95	22.87
総資産	(百万円)	86,444	84,876	90,041	92,048
純資産	(百万円)	29,037	29,624	32,520	34,199
自己資本比率	(%)	32.9	34.2	35.4	36.4
1株当たり純資産	(円)	469.35	478.26	525.55	551.90

売上高



営業利益



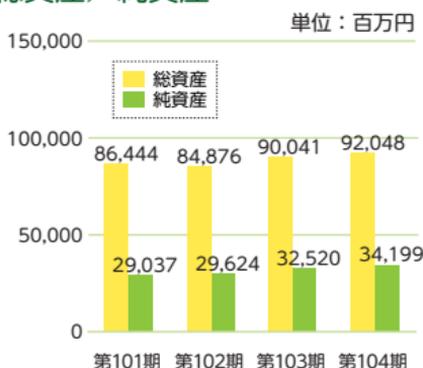
経常利益



当期純利益



総資産／純資産



自己資本比率



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表 平成25年3月31日現在 (単位:百万円)

科 目	金額	科 目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	19,159	流動負債	25,487
現金及び預金	6,229	支払手形及び買掛金	1,382
受取手形及び売掛金	1,621	短期借入金	12,840
販売土地及び建物	8,631	1年内償還予定の社債	479
未成工事支出金	213	未払金	3,177
商品及び製品	144	未払法人税等	885
原材料及び貯蔵品	391	未払消費税等	371
繰延税金資産	516	未払費用	816
その他	1,417	預り金	1,244
貸倒引当金	△7	賞与引当金	1,050
		役員賞与引当金	19
		その他	3,219
固定資産	72,889	固定負債	32,360
有形固定資産	66,406	社債	934
建物及び構築物	17,914	長期借入金	12,085
機械装置及び運搬具	4,540	繰延税金負債	653
土地	42,971	再評価に係る繰延税金負債	11,684
建設仮勘定	3	退職給付引当金	1,632
その他	976	役員退職慰労引当金	59
無形固定資産	244	その他	5,310
借地権	45	負債合計	57,848
その他	198	純資産の部	
投資その他の資産	6,238	株主資本	11,368
投資有価証券	3,935	資本金	2,335
長期貸付金	14	資本剰余金	1,972
繰延税金資産	281	利益剰余金	7,150
前払年金費用	1,315	自己株式	△90
その他	799	その他の包括利益累計額	22,111
貸倒引当金	△108	その他有価証券評価差額金	1,079
		土地再評価差額金	21,031
		少数株主持分	720
		純資産合計	34,199
資産合計	92,048	負債純資産合計	92,048

連結損益計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	41,616
運輸業等営業費及び売上原価	32,541
販売費及び一般管理費	7,637
営業利益	1,437
営業外収益	341
営業外費用	665
経常利益	1,112
特別利益	2,571
特別損失	1,188
税金等調整前当期純利益	2,495
法人税、住民税及び事業税	991
法人税等調整額	27
少数株主損益調整前当期純利益	1,476
少数株主利益	89
当期純利益	1,387

連結株主資本等の変動額一覧

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	—	2,335
資本剰余金	1,972	—	1,972
利益剰余金	5,972	1,178	7,150
(剰余金の配当)		※△ 212	
(当期純利益)		※1,387	
(土地再評価差額金の取崩)		※3	
自己株式	△ 90	△ 0	△ 90
株主資本合計	10,190	1,177	11,368
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	656	423	1,079
土地再評価差額金	21,034	△ 3	21,031
その他の包括利益累計額合計	21,690	420	22,111
少数株主持分	639	80	720
純資産合計	32,520	1,678	34,199

- 注) 1. 当一覧表は決算発表で開示された「連結株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。
 2. ※は利益剰余金の内数です。

連結キャッシュフロー計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位:百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 927
現金及び現金同等物の増減額	850
現金及び現金同等物の期首残高	4,649
現金及び現金同等物の期末残高	5,499

グループ会社の状況

運輸部門

備北交通(株)	庄原市東本町
エイチ・ディー西広島(株)	広島市西区己斐上
芸陽バス(株)	東広島市西条西本町
(有)やまとタクシー	大竹市西栄
広島観光開発(株)	廿日市市宮島町紅葉谷公園
宮島松大汽船(株)	廿日市市宮島町
広島観光汽船(株)	廿日市市宮島口
広電観光(株)	広島市中区東千田町

流通部門

(株)広電ストア	広島市中区東千田町
(株)広電宮島ガーデン	廿日市市宮島口
(有)広電商事	広島市中区東千田町

不動産部門

広電興産(株)	広島市中区東千田町
(株)交通会館	広島市東区上大須賀町

建設部門

広電建設(株)	広島市中区東千田町
大亜工業(株)	広島市中区光南

レジャー・サービス部門

(株)ホテルニューヒロデン	広島市南区大須賀町
(株)ヒロデンプラザ	広島市中区平野町
(株)グリーンバース・ヒロデン	三原市大和町大草
ひろでん中国新聞旅行(株)	広島市中区八丁堀

個別財務諸表(要旨)

貸借対照表 平成25年3月31日現在

(単位：百万円)

科 目	金額	科 目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	15,072	流動負債	16,818
現金及び預金	3,362	短期借入金	7,432
未収運賃	171	1年内償還予定の社債	210
未収金	1,799	未払金	2,913
未収収益	31	未払費用	580
短期貸付金	4	未払法人税等	646
販売土地及び建物	8,596	未払消費税等	288
貯蔵品	338	預り連絡運賃	64
前払金	328	預り金	908
前払費用	6	前受運賃	230
繰延税金資産	426	前受金	2,551
その他の流動資産	6	前受収益	80
貸倒引当金	△0	賞与引当金	827
		その他の流動負債	83
固定資産	62,724	固定負債	30,786
鉄・軌道事業固定資産	11,692	社債	356
自動車事業固定資産	11,982	長期借入金	10,833
不動産事業固定資産	30,569	繰延税金負債	643
各事業関連固定資産	1,941	再評価に係る繰延税金負債	11,684
建設仮勘定	3	退職給付引当金	974
投資その他の資産	6,535	債務保証損失引当金	2,998
関係会社株式	1,403	関係会社事業損失引当金	1,714
投資有価証券	3,630	その他の固定負債	1,581
長期貸付金	12	負債合計	47,605
前払年金費用	1,315	純資産の部	
その他の投資等	530	株主資本	8,101
貸倒引当金	△357	資本金	2,335
		資本剰余金	1,975
		利益剰余金	3,841
		自己株式	△51
		評価・換算差額等	22,090
		その他有価証券評価差額金	1,059
		土地再評価差額金	21,031
		純資産合計	30,191
資産合計	77,797	負債純資産合計	77,797

損益計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
鉄・軌道事業	
営業収益	6,321
営業費	6,184
営業利益	137
自動車事業	
営業収益	10,780
営業費	10,584
営業利益	195
不動産事業	
営業収益	3,748
営業費	2,942
営業利益	805
全事業営業収益	20,850
全事業営業費	19,711
全事業営業利益	1,138
営業外収益	331
営業外費用	486
経常利益	984
特別利益	1,735
特別損失	1,110
税引前当期純利益	1,608
法人税、住民税及び事業税	659
法人税等調整額	10
当期純利益	939

株主資本等の変動額一覧

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	－	2,335
資本剰余金	1,975	－	1,975
利益剰余金	3,110	730	3,841
(剰余金の配当)		※△ 212	
(当期純利益)		※939	
(土地再評価差額金の取崩)		※3	
自己株式	△ 50	△ 0	△ 51
株主資本合計	7,371	729	8,101
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	647	411	1,059
土地再評価差額金	21,034	△ 3	21,031
評価・換算差額等合計	21,682	408	22,090
純資産合計	29,053	1,138	30,191

- 注) 1. 当一覧表は決算発表で開示された「株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。
 2. ※は利益剰余金の内数です。

会社の概要

会社概要 (平成25年3月31日現在)

設立	昭和17年4月10日	
資本金	23億3,562万5千円	
本社所在地	広島市中区東千田町二丁目9番29号	
従業員数	1,569名	
主要事業	1. 鉄・軌道事業 2. 自動車事業 3. 不動産事業	
営業軒	1. 鉄・軌道	35.1軒
	2. 自動車	1,418.5軒
車両数	1. 鉄・軌道	301両
	2. 自動車	570両

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	2億4,000万株
発行済株式の総数	6,089万1千株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	3,941名

取締役および監査役 (平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	椋	田	昌	夫
常務取締役	迫		孝	治
常務取締役	名	越		元
取締役	岡	本		繁
取締役	倉	本	勇	治
取締役	藤	元	秀	樹
取締役	沼	田	卓	壮
取締役	仮	井	康	裕
取締役	田	村	興	造
常勤監査役	尾	崎	宏	明
監査役	笠	井	久	雄
監査役	高	橋		徹

- 注) 1. 取締役 田村興造は、社外取締役であります。
2. 監査役 笠井久雄、高橋 徹は、社外監査役であります。

株主優待制度

対象株主様：毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿に記載
または記録された株主様

株主優待乗車券・乗車証（年2回）		
所有株式数	種 別	枚 数
1,000株以上	電車全線乗車券	株式数に応じ 4～24枚
12,000株以上	電車・市内バス全線乗車証 (1名記名式)	1枚
24,000株以上	郊外バス全線乗車証または電車・市 内バス全線乗車証(1名記名式)	1枚
36,000株以上	電車全線乗車券	12枚
150,000株以上	電車・バス全線乗車証(1名記名式)	1枚
300,000株以上	電車・バス全線乗車証(1名記名式) ※2枚目以降持参人式選択可	2枚 3枚
広電グループ諸施設ご優待割引券（年2回）		
1,000株以上	広電グループ諸施設ご優待割引券	1セット
自社指定商品（年2回）		
1,000株以上	自社指定商品	1セット

交付時期および有効期間	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	交付時期	有効期間	交付時期	有効期間
乗車券		—		—
乗車証	5月末	6/1～11/30	11月末	12/1～5/31
グループ 優待割引券	6月末	7/1～12/31	12月末	1/1～6/30
自社指定商品	7月	—	1月	—

■ 電車全線乗車券の使用方法について

1. どなたでもご使用いただけます。
2. 1回のご乗車につき1枚必要です。
3. 乗り継ぎには2枚必要です。

■ 乗車証の使用について

1. 記名ご本人以外の方はご使用いただけません。
2. 記名は原則株主様ご本人ですが、株主様と同居する配偶者および2親等以内の親族、非同居の直系卑属（子または孫）の方に限り変更できます。
3. 非同居の直系卑属（子または孫）の方を使用者にする場合、戸籍謄本等で確認させていただきます。

■ 郊外バス全線、電車・バス全線乗車証の適用範囲について

1. 広島空港リムジンバス、米子線はご利用いただけません。
2. 三次線・松江線・浜田線・益田線・呉線はご利用いただけます。ただし、広電便以外はご使用いただけません。
3. 呉市域は一部ご使用いただけます。

■ 広電グループ諸施設ご優待割引券について

マダムジョイ・広電建設・もみじ本陣・広電ボウル・広電ゴルフ・グリーンバズゴルフ倶楽部・ひろでん中国新聞旅行・ホテルニューヒロデン・宮島ロープウエーの優待割引券が1セットになっています。

■ 自社指定商品について

1. 当社で指定した商品をご送付させていただいております。
2. 株主様が不在等で当社に返送された場合、送付の日から2週間以上経過したものを処分させていただくことがあります。

株主優待制度のお問い合わせ先

〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号
広電本社ビル4階
広島電鉄(株) 総務チーム（株式担当）
☎ (082) 242-3522

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主総会の基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (フリーダイヤル)
同取次先	三菱UFJ信託銀行株式会社 広島支店 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8 ☎082-221-2137 他全国各支店
手続きのお申し出先について	1. 未払配当金の支払のお申し出先 株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。 2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.hiroden.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、事故、その他のやむを得ない事由により電子公告することができないときは、広島市において発行する中国新聞に掲載いたします。

株主懇談コーナーについて

平成25年5月29、30日に株主懇談コーナーを開催いたしました。
次回は、平成25年11月下旬の開催を予定しております。開催日が決定次第、当社ホームページでご案内いたしますのでご覧ください。(平成25年10月下旬掲載予定)

広島電鉄株式会社

〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号

☎082-242-3521

ホームページアドレス <http://www.hiroden.co.jp/>

